



- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。  
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2020年11月6日配本</b> 定価3740円(本体3400円+税) <b>井手拓郎 著</b> <b>観光まちづくりリーダー論</b> 地域を変革に導く 人材の育成に向けて <b>ISBN978-4-588-64547-1 C3036</b> 観光立国が推進されるいま、国内外の旅行者をこれまで以上に引き寄せる、魅力的な観光地づくりが各地で求められている。地域に暮らす人々の意識を変革し、そのまち独自の観光資源を発見させ、経済的・文化的事業として成功に導くことのできるリーダーはどのように生まれるのか。具体的な成功事例をもとに、聞き取り調査やアンケートを通じて調査したリーダーシップ研究。 <b>【観光学・地域経済】</b> ☆関連書:ジョン・アーリ、ヨナナス・ラースン『観光のまなざし』(小局刊)ほか、観光学の棚に。	A5判上製・206頁
-------	----	---	------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2020年11月25日配本</b> 定価5940円(本体5400円+税) <b>オノラ・オニール 著/加藤泰史 監訳</b> <b>理性の構成</b> カント実践哲学の探求 <b>ISBN978-4-588-01124-5 C1310</b> ★ カントは人間の自由および人格への尊敬を断固として擁護し、理性は行為を導くことができると主張したが、その一方で自由の基礎と人間の義務については退屈な説明をしたと非難される。カント研究を基盤としながら貧困、ジェンダー、教育などの問題も鋭く論じてきた女性哲学者が、理性・行為・自由に関してカントの倫理学を位置づけ直す。正義、義務、実例の力、子どもの権利問題などから、実践哲学の新たな可能性を提唱する。 <b>【哲学・思想】</b> ☆関連書:オニール『正義の境界』(みすず書房)、馬淵浩二『貧困の倫理学』(平凡社新書)ほか。	四六判上製・502頁 《叢書・ユニベルシタス 1124》
-------	----	--	---------------------------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2020年12月10日配本</b> 定価3960円(本体3600円+税) <b>菅野雅子 著</b> <b>介護人材マネジメントの理論と実践</b> 不確実性を活力に変える 「創発型人材マネジメント」(仮) <b>ISBN978-4-588-67525-6 C3036</b> 介護サービスを担う多様な職員たちが、ストレスや人間関係の問題を乗り越えて継続的に働き、仕事の質や能力を向上させていける職場づくりはどのようにして可能なのか。介護労働現場の特性を踏まえた人材マネジメントやリーダーシップのあり方を、聞き取り調査を含めたさまざまな角度から検討し、業務内容の不確実性や多大な負荷が引き起こす「仕事の意味や目的の喪失」を回避するための方策を探究する。 <b>【経営・介護】</b> ☆関連書:下野恵子『介護保険解体の危機——誰もが安心できる超高齢社会のために』(小局刊)。	A5判上製・262頁
-------	----	---	------------

	部数	法政大学出版局 <b>2020年7月刊行</b> 定価3520円(本体3200円+税) <b>日本アーレント研究会 編</b> <b>アーレント読本</b> <b>ISBN978-4-588-15109-5 C1010</b> 二十世紀の全体主義の惨禍を、一人のユダヤ人女性として、亡命知識人として生きたハンナ・アーレント。政治的公共性や市民的自由がグローバルな危機に瀕し、民主主義の未来が脅かされる現在、彼女の思考の遺産から私たちは何を学ぶべきなのか? ベテランから若手まで総勢50名の気鋭の執筆者が、主要なテーマ群を最新の視点で掘り下げる決定版の入門書。各著作の解題や略年譜も付す。 <b>【政治思想・哲学】</b> ☆関連書:三浦隆宏著『活動の奇跡——アーレント政治理論と哲学カフェ』、正・続『ハイデガー読本』。	A5判並製・430頁
--	----	---	------------

	部数	9月26日『日本経済新聞』にて書評掲載! 法政大学出版局 <b>2020年8月刊行</b> 定価4180円(本体3800円+税) <b>許紀霖 著/中島隆博、王前 監訳</b> <b>普遍的価値を求め</b> 中国現代思想の新潮流 <b>ISBN978-4-588-01121-4 C1310</b> 普遍という概念は、いまなお警戒されている。西洋近代も日本も自らを普遍と称し、それは数え切れない暴力を引き起こしてきた。では中国はどうか。本書は、中国中心主義や中国特殊論の批判を踏まえて、価値相対主義に陥ることなく、「共に享受する普遍性」としての「新天下主義」を提唱し、文明、文化、国家へと議論を展開する。真に多様性・多元性を尊重するための思考とともに、『ユニベルシタス』もまた、新たに始動する。 <b>【哲学・思想】</b> ☆関連書:中島隆博他編著『世界哲学史』(ちくま新書)、王前『中国が読んだ現代思想』(講談社メチエ)ほか。	四六判上製・358頁 《叢書・ユニベルシタス 1121》
--	----	---	---------------------------------

ご担当者様 氏名: [ ] 担当ジャンル: [ ] TEL: [ ] E-mail: [ ]

- \* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
- \* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
- \* 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。